

2024 年 6 月 21 日

文部科学大臣 殿

学校法人 晴川学舎
理事長 大桶志延

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	奥羽大学
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(<input checked="" type="radio"/> 大学・短期大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	福島県郡山市富田町字三角堂 31 番 1
学長又は校長の氏名	清浦有祐
設置者の名称	学校法人 晴川学舎
設置者の主たる事務所の所在地	福島県郡山市富田町字三角堂 31 番 1
設置者の代表者の氏名	大桶志延
申請書を公表する予定のホームページアドレス	www.ohu-u.ac.jp

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

- 確認申請
大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。
- 更新確認申請書の提出
大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

- この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、

減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	経理課・鈴木瑞樹	024-932-8931	m-suzuki@jim.ohu-u.ac.jp
第2号の1	歯学部教務課・設楽民雄 薬学部教務課・佐久間隆道	024-932-8931	t-shidara@jim.ohu-u.ac.jp t-sakuma@jim.ohu-u.ac.jp
第2号の2	総務課・田村むつみ	024-932-8931	m-tamura@jim.ohu-u.ac.jp
第2号の3	歯学部教務課・設楽民雄 薬学部教務課・佐久間隆道	024-932-8931	t-shidara@jim.ohu-u.ac.jp t-sakuma@jim.ohu-u.ac.jp
第2号の4	歯学部教務課・設楽民雄 薬学部教務課・佐久間隆道	024-932-8931	t-shidara@jim.ohu-u.ac.jp t-sakuma@jim.ohu-u.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(3)②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(4)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校コード	F107310101313	学校名	奥羽大学
設置者名	学校法人晴川学舎		

I. ①直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	3,260,827,244円	4,300,269,160円	-1,039,441,916円
申請2年度前の決算	3,664,561,676円	4,415,730,654円	-751,168,978円
申請3年度前の決算	3,609,021,542円	4,435,639,944円	-826,618,402円

I. ②直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	20,557,073,658円	180,077,065円	20,376,996,593円

II. 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率(F)/(E)
今年度(申請年度)	1,320人	715人	54%
前年度	1,380人	890人	64%
前々年度	1,440人	952人	66%

大学・短期大学・高等専門学校で、II. 申請校の直近3年度の全ての収容定員充足率が8割未満の場合
申請前年度に当該学校を卒業した者について、今年度(申請年度)5月1日時点の状況について

(A)又は(B)のいずれかを記載

・申請校の直近の進学・就職率の状況(A)学校基本統計を利用する場合

	卒業者数(G)	進学者数+就職者数(H)	進学・就職率(H)/(G)
申請前年度の状況			#DIV/0!

・申請校の直近の進学・就職率の状況(B)学校基本統計を利用しない場合

	進学希望者+就職希望者(I)	進学者数+就職者数(J)	進学・就職率(J)/(I)
申請前年度の状況	92人	92人	100%

(I. ②の補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額
	なし	円
		円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額
	なし	円
		円
		円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	奥羽大学
設置者名	学校法人 晴川学舎

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
歯学部	歯学科	夜・通信			168	168	19	
		夜・通信						
薬学部	薬学科	夜・通信			58.5	58.5	19	
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/dental/pdf/Syllabus2024-full.pdf https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/pharmacy/pdf/Syllabus2024.pdf *実務経験教員は授業概要(シラバス)の歯学部は科目の概要上部に、薬学部は科目の概要に記載している。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	奥羽大学
設置者名	学校法人 晴川学舎

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.ohu-u.ac.jp/information/zaimu/2024yakuin.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	現歯科医院院長	2024. 6. 1～ 2026. 5. 31	法人を代表し、その 業務の総理
非常勤	現歯科医院院長	2024. 6. 1～ 2026. 5. 31	経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	奥羽大学
設置者名	学校法人 晴川学舎

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>歯学部では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム委員会が当該年度の授業科目と時間割を決定し、すべての学部教員を対象に説明会を開催する。 ・科目責任者は、科目の概要、一般目標、到達目標、履修の進め方、準備学修、成績、評価方法、教本、参考書、授業内容と日程について授業計画の詳細を記載する。 ・科目責任者は初校と再校にて校正を行う。 ・学部長、学生部長、カリキュラム委員は校正後の記載事項を点検し、修正箇所等を科目責任者に指摘し、訂正後にシラバスを完成させる。 ・上記の作業は9月に開始し、3月末に納品される。 ・納品され次第、学部全教員を対象に次年度の授業計画、授業概要、重要項目の説明会を開催し、新年度に備える。 <p>薬学部では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期に次年度シラバスの作成に関するFD研修会を開催し、授業の方法、内容、到達目標、成績評価方法等の要点を相互に確認する。 ・科目担当者に原稿作成を依頼する。 ・提出原稿を学部長とカリキュラム委員が点検し、修正の必要な箇所を科目担当者に指摘し、再提出させる。 ・校正後、シラバスを完成させ、全教員に配布し新年度に備える。 	
授業計画書の公表方法	https://www.ohu-u.ac.jp/information/idea.html#curri
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>歯学部では、すべての科目において学修成果の評価方法をシラバスに明示している。試験結果等から、秀、優、良、可、不可の成績が付与される。</p> <p>薬学部では、すべての授業科目についてシラバスに評価方法を記載し、評価基準に則り厳格かつ適正に単位認定を実施している。</p> <p>成績発表は、前期成績と後期成績の2回とし、評価は、秀、優、良、可、不可で判定され、「可」以上を単位認定とする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
GPは次のとおりとする。

成績の評価		GP
5段階	成績	
秀	100点～90点	4.0
優	89点～80点	3.0
良	79点～70点	2.0
可	69点～65点	1.0
不可	64点以下	0.0

学期GPAと累積GPAの二種類とし、それぞれの算出法は以下の通りである。

$$\text{学期 GPA} = \frac{(\text{当該学期に評価を受けた授業科目の GP} \times \text{当該授業科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{当該学期に評価を受けた授業科目の単位数の総和}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{(\text{在学全期間に評価を受けた授業科目の GP} \times \text{当該授業科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{在学全期間に評価を受けた授業科目の単位数の総和}}$$

※成績証明書提出先からGPA記載をもとめられたときは記載する。

※薬学部は、GPAを参考に退学勧告をする場合がある。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/dental/pdf/Syllabus2024-dshiken.pdf>
<https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/pharmacy/pdf/Syllabus2024-4.pdf?20240516>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

歯学部は、本学の目的と教育目標とに基づく教育課程を通じて、以下のような能力を身に付け、かつ所定の単位を修得し、卒業試験に合格した者に対し卒業証書を授与し、卒業した者に対し学士(歯学)の学位を授与します。

1. 倫理とコミュニケーション

- ・患者の立場や背景を理解し、思いやりを持った行動ができる。
- ・患者との良好な関係を構築し、自己決定の権利の尊重と個人情報厳守ができる。

2. 探求力と解決力

- ・医療に対して社会や環境が求めるニーズや問題を探求し、迅速かつ的確に解決できる。

3. 病態解析と治療概念

- ・病態を解析し、治療の要素を把握できる。

4. 知識と診断

- ・歯科口腔疾患を診断し、適切な治療計画を立案できる。

5. 技能と治療

- ・歯科医療技術を身に付け、先進的で高度な歯科医療を実施できる。

6. 奥羽プロフェッショナリズム

- ・超高齢社会の問題と課題を分析し、ニーズを抽出して解決策を立案できる。
- ・地域特性を踏まえた医療連携を構築し、他職種とともに包括医療を実践できる。
- ・生涯にわたり歯科医師としての自己研鑽に努めることができる。

また、各授業科目シラバスには、当該ディプロマポリシーのどの項目に関連するか科目ナンバリングを付け、教育課程の構造を分かりやすく明示している。

さらに、卒業までの各進級について「受験資格」「進級および卒業条件」としてアセスメントポリシーをシラバスに記載し、厳格に審議している。

薬学部は、本学の目的と教育目標とに基づく教育課程を通じて、以下のような能力を身に付け、かつ所定の単位を修得したものに学士(薬学)の学位を授与する。

1. 社会人としての教養と医療人としての豊かな人間性、高い倫理観、強い使命感を身に付け、患者の意向を尊重した態度で患者とその家族に対応することができる。

2. 多様な背景を持つ人と速やかに良好なコミュニケーションを取ることのできる能力を身に付け、患者、患者の家族、医療チームのメンバー等と信頼関係を築くことができる。

3. 医薬品・化学物質等の作用や性状、生体および環境への影響に関する科学的な根拠を理解・分析し、発信できる十分な知識と能力を有する。

4. 患者の様々な病態における医薬品の使用に際し、安全かつ有効な薬物療法の提案および評価を行うことができる。

5. 医療人として地域の特性を理解・把握・分析できる能力を持ち、多職種連携を通して、地域の保健、医療、福祉、健康増進に貢献できる。

6. 最新の薬学専門知識に基づく先進的薬物療法を患者に提供するために、生涯にわたって主体的学習を継続できるように自己研鑽に努め、次世代を担う人材の育成に取り組むことができる。

また、各授業科目シラバスには、当該ディプロマポリシーのどの項目に関連するかを明示し、学修の指針としている。

さらに、学年制を加味した単位制をとっており、卒業まで各学年の進級について教授会で審議し、学位授与を厳格に実施している。すなわち、学年毎に学生の不合格単点を厳密に精査し、その結果を、シラバス掲載「V. 試験と成績評価」の「6. 成績評価・単位認定」及び「7. 進級」の条項に照らして確認したのち、厳格に審議している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/dental/pdf/Syllabus2024-dshiken.pdf>
<https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/pharmacy/pdf/Syllabus2024-3.pdf>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	奥羽大学
設置者名	学校法人 晴川学舎

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ohu-u.ac.jp/information/zaimu/r03_taisyaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.ohu-u.ac.jp/information/zaimu/r03_jigyokatudou.pdf
財産目録	https://www.ohu-u.ac.jp/information/zaimu/r03_zaisan_new.pdf
事業報告書	https://www.ohu-u.ac.jp/information/zaimu/r03_jigyoui.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.ohu-u.ac.jp/information/zaimu/r03_kansahoukoku_new.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: 奥羽大学 中期目標・中期計画 対象年度: 2023~2029年度)	
公表方法: https://www.ohu-u.ac.jp/information/zaimu/202304keikaku.pdf	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.ohu-u.ac.jp/information/tenken-pdf/tenken-r05.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.ohu-u.ac.jp/information/tenken-pdf/houkoku-r05.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 歯学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.ohu-u.ac.jp/information/idea.html#ado）</p> <p>（概要）奥羽大学は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部のその目的は、次のとおりとする。</p> <p>歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針</p> <p>（公表方法：https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/dental/pdf/Syllabus2024-dshiken.pdf）</p> <p>（概要）歯学部は、本学の目的と教育目標とに基づく教育課程を通じて、以下のような能力を身に付け、かつ所定の単位を修得し、卒業試験に合格した者に対し卒業証書を授与し、卒業した者に対し学士(歯学)の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理とコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・患者の立場や背景を理解し、思いやりを持った行動ができる。 ・患者との良好な関係を構築し、自己決定の権利の尊重と個人情報厳守ができる。 2. 探求力と解決力 <ul style="list-style-type: none"> ・医療に対して社会や環境が求めるニーズや問題を探求し迅速かつ的確に解決できる。 3. 病態解析と治療概念 <ul style="list-style-type: none"> ・病態を解析し、治療の要素を把握できる。 4. 知識と診断 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科口腔疾患を診断し、適切な治療計画を立案できる。 5. 技能と治療 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療技術を身に付け、先進的で高度な歯科医療を実施できる。 6. 奥羽プロフェッショナリズム <ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会の問題と課題を分析し、ニーズを抽出して解決策を立案できる。 ・地域特性を踏まえた医療連携を構築し、他職種とともに包括医療を実践できる。 ・生涯にわたり歯科医師としての自己研鑽に努めることができる。 <p>また、各授業科目シラバスには、当該ディプロマポリシーのどの項目に関連するか科目ナンバリングを付け、教育課程の構造を分かりやすく明示している。</p> <p>さらに、卒業まで各学年の進級について「受験資格」「進級および卒業条件」としてアセスメントポリシーをシラバスに記載し、厳格に審議している。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>（公表方法：https://www.ohu-u.ac.jp/information/idea.html#diploma）</p> <p>（概要）ディプロマポリシーに掲げる知識・技能・態度などの能力を修得するために、歯学部では6年一貫とした以下の方針でカリキュラムを編成しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間性豊かで優れた歯科医師を育成するために、大学で学ぶ目的を明確化し、医療人としてのコミュニケーションに必要な基本的態度・知識・技能を修得する必要があるため、第1学年～第3学年では、この一貫した共通目標を持たせた「歯科医療人間学」を設けています。また患者の立場と背景を理解し道徳観や倫理観を涵養するために、第1学年と第2学年で「リベラルアーツ」を履修します。さらに医療に対するニーズや問題を探求し、それを解決する力を身に付けるために、第1学年～第3学年では、アーリーエクスプローラーを踏まえた「医学概論」を取り入れています。 2. 生涯にわたり歯科医師として自己開発に努める習慣を身に付けるために、第1学年～第4学年では、学年や基礎、臨床を問わず学生自身が興味を持つ分野を選択し出向して学修できる「エレクトイブ・スタディ」を取り入れています。

3. 各学年における総合的な知識を確認するために、第1学年では総合試験 1D、第2学年では総合試験 2D、第3学年では総合試験 3D、第4学年では CBT、OSCE、第5学年では第 I・II・III・IV 期終了試験、総合試験 5D を行います。また、第1学年～第3学年の履修科目では、各科目の到達目標に対して学生間に差が生じないように、目標達成度の低い学生を対象に少人数で強化的に学修する「科目選択ゼミナール」を取り入れています。
4. 歯科口腔疾患の病態の解析と治療概念を把握し、診断と適切な治療計画を立案するために、第1学年と第2学年では「理科」、第2学年と第3学年では基礎系科目による「歯科基礎医学」と「歯科基礎病態学」、第3学年と第4学年では臨床系科目による「歯科口腔診断治療学」、第4学年では「歯科口腔診断学」を履修するように編成しています。これにより第1学年～第4学年で履修する理科、基礎系科目、臨床系科目が順に取り組めます。
5. 先進的で高度な歯科医療技術を身に付け、さらに超高齢社会のニーズに対応し、地域特性を踏まえた包括的医療を実践するプロフェッショナルになるために、第5学年では臨床実習（診療参加型）と基礎系科目を再度履修するための Evidence research 研修、他職種連携を学ぶための Medical Team 研修や介護老人保健施設、特別養護老人ホームおよび障がい者支援施設での学外研修を取り入れています。
6. 歯科医師になるために必要な知識と技能を再確認するために、第6学年では歯科医師国家試験出題基準に則った授業時間を各科目に割り当て、臨床総合講義を行います。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：<https://www.ohu-u.ac.jp/information/idea.html#ado>）

（概要）本学の建学の理念は「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」です。医療従事者は医学的知識や医療技術の修得にとどまらず、人間性と道徳観や倫理観を持って他者とのコミュニケーション能力を高め良好な人間関係を築くことが大切です。また、社会環境の変化やニーズに対応するために、自ら課題を探究して解決する能力や多職種連携に関わる知識と応用力も必要となります。さらに、人として他者を尊重し思いやる心と生涯にわたり歯科医師を貫く強い志を持ち、社会に貢献できる歯科医師を目指すことが必要となります。

歯学部では、次のような資質を備えた入学者を求めています。

求める人物像

1. 国民の健康の保持・増進に役立ちたいという志を持っている。
2. 生命を尊重し他者を思いやる心を持っている。
3. 地域医療を支える意識を持っている。
4. 歯科医師という職業に魅力を感じ、その仕事に携わりたいという強い希望と意欲を持っている。
5. 歯科医師として、生涯にわたって自己研鑽を続けるための強い意志を持っている。

入学前に身に付けていることが望まれる知識など

1. 入学後の学修に必要な基礎学力（国語、英語、数学、理科）を有している。
2. 基本的なコミュニケーション能力を発揮するための基礎的な知識・態度を有している。

入試区分別アドミッションポリシー

・総合型選抜入学試験

歯学部のアドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 歯科医療を通して社会に貢献したいという強い意欲がある。
2. 将来、自らが目指す歯科医師像が明確である。

・同窓特別入学試験

歯学部のアドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 本学歯学部の教育環境を十分に理解している。
2. 将来、自らが目指す歯科医師像が明確である。

<ul style="list-style-type: none"> ・学校推薦型選抜入学試験 歯学部のアドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。 1. 本学で歯科医学を学ぶことを強く希望している。 2. 歯科医療を通して社会に貢献したいという強い意欲がある。 ・特待生選抜入学試験 歯学部のアドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。 1. 特に理数系科目と英語において、優れた学力水準にある。 2. 指導的立場に立って歯科医学・歯科医療を支える意識を強く持っている。 ・一般選抜入学試験 歯学部のアドミッションポリシーに合致する入学者を求めます。 ・社会人特別入学試験（1年次） 歯学部のアドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。 1. 歯科医療を通して社会に貢献したいという強い意欲がある。 2. 将来、自らが目指す歯科医師像が明確である。 ・編入学試験（2・3・4年次編入） 歯学部のアドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。 1. 歯科医師になりたいという強い希望を持っている。 2. 本学で歯科医学を学ぶことを強く希望している。 3. 歯科医療を通して社会に貢献したいという強い意欲がある。

<p>学部等名 薬学部</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：https://www.ohu-u.ac.jp/information/idea.html#ado）</p> <p>（概要）奥羽大学は、教育基本法並びに学校教育法に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部のその目的は、次のとおりとする。 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針</p> <p>（公表方法：https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/pharmacy/pdf/Syllabus2024-3.pdf）</p> <p>（概要）薬学部は、本学の目的と教育目標とに基づく教育課程を通じて、以下のような能力を身に付け、かつ所定の単位を修得したものに学士（薬学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人としての教養と医療人としての豊かな人間性、高い倫理観、強い使命感を身に付け、患者の意向を尊重した態度で患者とその家族に対応することができる。 2. 多様な背景を持つ人と速やかに良好なコミュニケーションを取ることのできる能力を身に付け、患者、患者の家族、医療チームのメンバー等と信頼関係を築くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性を踏まえた医療連携を構築し、他職種とともに包括医療を実践できる。 ・生涯にわたり歯科医師としての自己研鑽に努めることができる。 <p>また、各授業科目シラバスには、当該ディプロマポリシーのどの項目に関連するか科目ナンバリングを付け、教育課程の構造を分かりやすく明示している。</p> <p>さらに、卒業まで各学年の進級について「受験資格」「進級および卒業条件」としてアセスメントポリシーをシラバスに記載し、厳格に審議している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 医薬品・化学物質等の作用や性状、生体および環境への影響に関する科学的な根拠を理解・分析し、発信できる十分な知識と能力を有する。 4. 患者の様々な病態における医薬品の使用に際し、安全かつ有効な薬物療法の提案および評価を行うことができる。

<p>5. 医療人として地域の特性を理解・把握・分析できる能力を持ち、多職種連携を通して、地域の保健、医療、福祉、健康増進に貢献できる。</p> <p>6. 最新の薬学専門知識に基づく先進的薬物療法を患者に提供するために、生涯にわたって主体的学習を継続できるように自己研鑽に努め、次世代を担う人材の育成に取り組むことができる。</p> <p>また、各授業科目シラバスには、当該ディプロマポリシーのどの項目に関連するかを明示し、学修の指針としている。</p> <p>さらに、学年制を加味した単位制をとっており、卒業まで各学年の進級について教授会で審議し、学位授与を厳格に実施している。すなわち、学年毎に学生の不合格単位を厳密に精査し、その結果を、シラバス掲載「V. 試験と成績評価」の「6. 成績評価・単位認定」及び「7. 進級」の条項に照らして確認したのち、厳格に審議している。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.ohu-u.ac.jp/information/idea.html#diploma)</p>
<p>(概要) ディプロマポリシー (学位授与の方針) に掲げる知識・技能・態度などの能力を修得するために、薬学部では以下の方針でカリキュラムを編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性と深い教養を身に付けるために、人文科学・社会科学・自然科学を広く学ぶことのできる教養科目を3年間にわたり随時受講可能となるように配置します。また、教養科目、医療薬学系科目、実務実習等により、6年間を通して医療に関わる専門家としての自覚と倫理観を醸成します。 2. 薬学の基礎を順次学修するために、「薬学教育モデルコアカリキュラム」に準拠した科目群を適切な時期に配置します。 3. 2年次からの本格的な薬学専門教育開始の準備のために、初年次に導入教育を開講し、続いて高度な知識・技能・態度を身に付けるために、薬学専門科目及び専門実習を履修します。 4. コミュニケーション能力と問題発見・解決能力を醸成するために、レポートによる文章表現や少人数グループによる討論(SGD)などによる能動的学修法を多学年にわたり取り入れます。 5. 保健、医療、福祉、健康増進を支援できる能力を養うために、1年次にチーム医療学演習等を、2～4年次に薬学系科目、衛生薬学系科目等を配置し、系統的に学修が進むようにします。 6. 薬物療法における実践的能力を養うために、2～4年次に薬学の基礎から応用・臨床に関する知識・技能を順序立ててバランスよく修得できるように科目を配置し、知識のまとめとしてSGDを用いた演習を実施します。 7. 5年次の実務実習では、地域及び社会が求めている医療を直接学ぶとともに次世代を担う薬剤師としての実践的能力や倫理観を養います。 8. 4～6年次の卒業研究では、薬学専門科目や実務実習の学修を総合的に活用し、科学的な思考能力、問題発見・解決能力、情報発信能力を高めます。 9. 医療の現状を見据えながら将来の医療を考え、また、学生の意欲や興味、将来の進路等に応じられるよう、専門分野により特化した薬学や最新の医療、実践的なコミュニケーション等を学修できる薬学アドバンス科目を開講します。 10. 1～3年次では、各学年の学修の総仕上げとして薬学演習Ⅰ～Ⅲを履修します。また4～6年次では、それまでに学修した全ての科目の集大成として薬学演習Ⅳ～Ⅵを履修し、薬剤師として必要な、自発的且つ継続的な自己研鑽力を身に付けます。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：https://www.ohu-u.ac.jp/information/idea.html#ado)</p>
<p>(概要) 本学の建学の理念は「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」です。薬学部では、その具現化のために薬剤師としての必要な知識と技術の修得だけにとどまらず、他者とのコミュニケーションを積極的に行うトレーニングを通し、人間性と道徳観や倫理観を育てていきます。また、進歩していく社会やニーズの変化に対応するためには、常に課題を探究し、解決するまで研鑽し続ける力をつけることが必要となります。</p> <p>本学部では、高等学校等における幅広い学習を通じて、次のような資質を備えた入学者を求めています。</p>

求める人物像

1. 国民の健康の維持・増進に役立ちたいという志を持っている。
2. 生命を尊重し他者を思いやる心を持っている。
3. 地域医療を支える意識を持っている。
4. 薬剤師という職業に魅力を感じ、その仕事に携わりたいという強い希望と意欲を持っている。
5. 薬剤師として、生涯にわたって自己研鑽を続けるための強い意思をもっている。

入学前に身に付けていることが望まれる知識など

1. 入学後の学修に必要な基礎学力(国語、英語、数学)を有している。
2. 高等学校までの理科3科目(物理、化学、生物)の中で1科目以上について、その内容を身に付けている。
3. 基本的なコミュニケーション能力を発揮するための基礎的な知識・態度を身に付けている。

入試種別アドミッションポリシー

・一般選抜

薬学部のアドミッションポリシーに合致する入学者を求めます。

・総合型選抜

アドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 高等学校での学習に限らず、課外活動や社会活動など様々な活動に対し積極的な態度で参加している自らの活動実例を表現できる。

・学校推薦型選抜

アドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 高等学校で学ぶ基本的学科目、特に理数系科目について、優れた学力水準にある。
2. 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組むことができる。

・特待生選抜

アドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 高等学校で学ぶ基本的学科目、特に理数系科目について、優れた学力水準にある。
2. 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組むことができる。
3. 将来、薬剤師として指導的立場に立って社会に貢献したいという意欲を有する。

・編入学試験(第2・4年次編入)

アドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 本学で学ぶ基本的学科目、特に理数系科目について、優れた学力水準にある。
2. 将来、薬剤師として働く高い志を持ち、社会に貢献したいという意欲を有する。

・社会人特別入学試験

アドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 本学で学ぶ基本的学科目、特に理数系科目について、優れた学力水準にある。
2. 将来、薬剤師として働く高い志を持ち、社会に貢献したいという意欲を有する。

・帰国生徒入学試験

アドミッションポリシーに加えて、下記の資質を有する入学者を求めます。

1. 本学で学ぶ基本的学科目、特に理数系科目について、優れた学力水準にある。
2. 検校在住の経験を活かし、将来薬剤師として働く高い志を持ち、社会に貢献したいという意欲を有する。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.ohu-u.ac.jp/information/soshiki.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
—	—	25人	8人	48人	42人	7人	130人
—	—	19人	10人	5人	1人	0人	35人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		164人					165人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/dental/d-chair.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
録画授業評価、ワークショップ、シラバス説明会、卒業時・卒業後アンケート等実施							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
歯学部	80人	26人	32.5%	560人	322人	57.5%	若干名人	134人
薬学部	100人	19人	19.0%	760人	393人	51.7%	若干名人	39人
合計	180人	45人	25.0%	1,320人	715人	54.1%	若干名人	173人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
歯学部	63人 (100%)	0人 (0%)	38人 (60.3%)	25人 (39.7%)
薬学部	104人 (100%)	0人 (0%)	54人 (51.9%)	50人 (48.1%)
合計	167人 (100%)	0人 (0%)	92人 (55.1%)	75人 (44.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
歯学部	51人 (100%)	31人 (60.8%)	11人 (21.6%)	9人 (17.6%)	0人 (0%)
薬学部	113人 (100%)	86人 (76.1%)	7人 (6.2%)	20人 (17.7%)	0人 (0%)
合計	164人 (100%)	117人 (71.3%)	18人 (11.0%)	29人 (17.7%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要) 歯学部は、「歯科医学教授要綱」「歯学教育モデルコア・カリキュラム」に則り、6年一貫とした教育カリキュラムを組み、自らが課題を発見し自らが解決に取り組む課題発見解決能力を育てている。</p> <p>授業は、講義、実習、演習からなり、5年次には附属病院において診療参加型の臨床実習を実施している。</p> <p>年間の授業計画は、カリキュラム委員会が決定した授業科目と時間割に沿って、科目責任者が授業計画を作成し、学部長、学生部長、カリキュラム委員の点検と科目責任者の修正後にシラバスを完成し、学部全教員に配布・説明を行っている。</p> <p>薬学部は、「薬学教育モデルコア・カリキュラム」に則った教育カリキュラムを組んでいる。</p> <p>また、文部科学省が定めた「薬剤師として求められる基本的な資質」を卒業時に備えるため、豊かな人間性と医療人としての高い使命感を有し、生命の尊さを深く認識し、生涯にわたって薬の専門家としての責任を持ち、人の命と健康な生活を守ることを通して社会に貢献する人材を育成している。</p> <p>授業は、講義、実習、演習からなり、5年次には実務実習で薬剤師としての実践的能力と倫理観を養っている。</p> <p>年間の授業計画は、FD研修会でシラバス作成の要点を全教員で確認し、科目担当者が授業計画を作成している。その授業計画を学部長、カリキュラム委員が点検し、科目担当者に修正を求めている。完成したシラバスは学部の全教員に配布、新年度に備えている。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) 歯学部は、各学年の受験資格、成績評価の要件、進級、卒業判定についての「アセスメントポリシー」をシラバスに明示し、「ディプロマポリシー」に沿って卒業を認可し、学士の学位を与えている。成績は、秀（90～100点）、優（80～89点）、良（70～79点）、可（65～69点）、不可（64点以下）の5段階としているが、進級、卒業は以下の基準に従っている。</p> <p>(1) 第1～3学年は、各科目および各実習の最終評価で全て65点以上を取得し、なおかつ総合試験1～3Dで70.00%以上を取得した者を合格とする。</p> <p>(2) 第4学年は、各科目および各実習の最終評価で全て65点以上を取得し、なおかつCBTおよびOSCEで70.00%以上を取得した者を合格とする。</p> <p>(3) 第5学年は、知識点と臨床実習最終評価でいずれも平均65点以上を取得し、なおかつ総合試験5Dで70.00%以上を取得した者を合格とする。また臨床実地試験（CPX）、一斉技能試験（CSX）の両方に合格することを臨床実習終了の要件とする。</p> <p>(4) 第6学年は、3回の卒業試験の平均が70.00%以上を取得した者を合格とする。</p>

薬学部は、成績評価と進級・卒業の要件をシラバスに記載し「ディプロマポリシー」に沿って卒業を認可し学位を授与している。科目の成績評価は、秀（90～100点）、優（80～89点）、良（70～79点）、可（65～69点）、不可（64点以下）の5段階とし、「可」以上を進級の合格基準としている。

ただし、未修得単位が1年次で3単位、2年と3年次で4単位までは進級を認め、次年度に履修できる。4年次には薬学共用試験のCBTとOSCEの合格が必須となる。卒業の認定は、一般教養科目、基礎教育科目、専門教育科目の所定の単位数を合わせて190単位以上の修得が要件となる。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
歯学部	歯学科	192 単位	有 (無)	単位
		単位	有・無	単位
薬学部	薬学科	195.5 単位	有 (無)	
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <https://www.ohu-u.ac.jp/facility/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
歯学部	歯学科	3,500,000円	500,000円	50,000円	
		円	円	円	
薬学部	薬学科	1,500,000円	200,000円	40,000円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 入学前教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯学部では、小論文作成を通して、文章の読解を校正する能力を訓練している。 ・薬学部では、化学、物理、生物、数学を重点とした復習を行っている。 <p>修学支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯学部では、学年ごとに学年主任に加え、クラス担任として学生5～7名に1人の割合で教員を配置し、少人数制による学修および生活の両面に対して支援指導を行っている。 ・薬学部では、1学年から3学年までアドバイザー制度を設け、講師以上の教員1人につき各学年2～3人(合計7～8人)の学生を学修と生活の両面から指導し、4学年以上は、研究室に配属してその研究室の教員が支援・指導している。 <ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援として、歯学部、薬学部とも、成績優秀者に対して授業料全額相当の奨学金を支給する特待生制度を設けている。
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 歯学部では、卒後臨床研修制度のため、研修機関の選択についてアドバイスを行っている。また、1年次の特別講義において卒直後の研修歯科医、総合病院の勤務医や開業医などを招聘し、在学時代から現在までの様子や心構えなどを数週間にわたり講演し、進路選択の参考になるような初期教育を実施している。</p> <p>薬学部では、学生部教員による大学院進学のアドバイスや就職委員会と学事部就職課による就職アドバイスを行っている。</p> <p>また、入学時の「フレッシュマンサークル」や1年前期の「フレッシュマンセミナー」で、卒業後の進路の選択肢などを説明している。</p> <p>さらに、1年次の医療職早期体験授業や、その後2～6年次に適宜実施される各種職業セミナーの実施のほか、就職相談室の設置など支援体制が整備されている。</p> <p>特に、毎年12月には5年次学生を対象とした職業研究セミナーを2日間開催しており、病院、保険薬局、ドラッグストア、官公庁などの様々な職種の担当者から直接話を聞くことができる機会を設けている。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 本学では、健康診断、保健室、カウンセリング室、附属病院などヘルスケアならびにメンタルケアの体制を整備している。</p> <p>また、学生に対するハラスメント防止体制や障がいのある学生に対する配慮や支援体制も整備されている。</p> <p>教員による支援は、歯学部では学年主任、クラス担任制度、薬学部ではアドバイザー制度および研究室配属による心身の支援を行っている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/dental/d-chair.html https://www.ohu-u.ac.jp/faculty/pharmacy/p-staff.html</p>
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F107310101313
学校名 (〇〇大学 等)	奥羽大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人晴川学舎

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		43人	40人	43人
内 訳	第Ⅰ区分	25人	28人	
	第Ⅱ区分	12人	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				43人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	—		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
	0人		

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	—		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。